

|        |   |
|--------|---|
| 研究課題番号 | 5-2101                                  |
| 研究課題名  | 土壌・水系における有機フッ素化合物類に関する挙動予測手法と効率的除去技術の開発 |
| 研究実施期間 | 令和3年度～令和5年度                             |
| 研究機関名  | 京都大学                                    |
| 研究代表者名 | 田中 周平                                   |

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

PFAS/PFOS の環境汚染は喫緊の問題で、米国でも規制が強化されつつあり、時宜を得た研究である。地下水などの土壌調査には様々な制約があるなど困難な課題であるが、詳細に取り組んでいる。ボーリングによる地質調査や地下水水質調査など、現地観測に基づいて基盤となる知見・データ（情報）の着実な集積、それらに基づいた PFOS 等の動態モデル作成を期待する。その際、開発されたモデルの妥当性を実際の汚染データに基づいて検討するとともに、将来の汚染の広がり動向に関して不確定性を含めて議論してほしい。地域住民の関心事であるので、結果の公表や調査地点の選定も地元の理解を得て行ってほしい。

#### 2. 採点結果

評価ランク：A